

～会長就任挨拶～

館野 洋一郎

(株)タテノコーポレーション代表取締役社長



本年10月の定時総会で会長に再任されました館野です。日頃より全油販連の活動に御理解・御支援を賜りまして、心より御礼申し上げます。引き続きよろしくお願いいたします。

油脂業界を取り巻く環境は、原料相場に落ち着きが見られるものの、グローバルな異常気象の常態化と地域紛争の長期化、為替の乱高下が続く中、引き続き、先行きが不透明な状況にあります。政府においても、本年、「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正され、現在、新たな「食料・農業・農村基本計画」が策定されています。他方、コロナ禍の後も新しいライフスタイルが定着し、これに伴う需要の変化も生じています。

このような中、全油販連といたしましても、国民の食生活に不可欠な油脂の安定供給の使命を果たしていく必要があります。実需者・消費者の皆様の声の伺いながら、油脂メーカー各社を始め油脂関係業界の皆様との連携を強め、環境変化に対応できる態勢を築いていくことが肝要と存じております。このため、物流2024年問題や緊急事態発生時の対応のほか、改めて「油の価値」を世の中に広く浸透させていく取組に取り組んでまいりたく、改めまして、この「全油販連ニュース」についても御理解と御協力を賜れば幸いです。引き続きよろしくお願い申し上げます。

～副会長就任挨拶～

宇田川 公喜

(株)宇田川商店代表取締役社長



皆様、お世話になります。全油販連の副会長を仰せつかりました宇田川公喜です。館野会長のもと微力ながら組合の為に尽力して参る所存です。

私事で恐縮ですが、今年で還暦を迎えました。とは言え別段変わった所は有りませんが色々な所で老いを感じております。

さて、今期より、全油販連ニュースの編集長？に就任いたしました。コロナ禍の間、滞っていましたが全油販連ニュースですが、今期からは定期的に発刊して行く予定です。関係者の皆様には原稿の依頼等でお世話になる事が有ると思いますのでご協力の程宜しくお願い致します。本末転倒かもしれませんが、全油販連ニュースの内容が充実する為には、活発に横断的に活動して行くことが大事と考えております。

最後になりますが、全ての油脂業界の方々のご発展とご健勝を祈念致しまして副会長就任の挨拶とさせていただきます。

島田 豪

(島商(株)代表取締役社長・東京油問屋市場理事長)



副会長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。飲食業界ではインバウンド需要も旺盛でコロナ後通常の世の中が戻ってきた1年でありました。製油業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いていますが、多くの油脂原料は落ち着きを取り戻しております。各業界ではコロナ禍の苦境を乗り越え、明るいニュースを聞

く機会が増えたと感じております。各製油メーカーでの新商品開発や営業推進は続いており、油脂の卸し業界でも精力的にいろいろな活動を行なっていきたいと会社や油業界共々考えております。

私は10年以上前に父からバトンを受け、油専門問屋であり続けることをモットーに活動しております。しかし昨今、どこからでも油を購入することができる時代です。ですから私の会社のみならず私たち油業界ではより付加価値を付けて、いかに信頼の置ける会社から購入いただけるようにするか、または伝統的な油脂だけでなく、より革新的な油を提案することの仕組み作りが必要だと感じております。

全国油脂販売業者連合会では私は油脂未来セミナーの実行委員長として全国の油問屋の営業人を対象に、勉強会を開催しました。本年度、オリーブオイルセミナーでは自らオリーブソムリエと日々の営業で培った知識と技術（オリーブオイルのテイastingと味比べ）を皆様にお伝えできたことは、恐悦至極の喜びであります。油脂販売業者として上記の様なやるべきことをやり、邁進してゆきたいと思っております。今後とも全油販連の活動に対しましてご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

木村 顕治

(株)マルキチ代表取締役社長・関西油脂連合会会長



副会長を拝命いたしました株式会社マルキチ代表取締役社長の木村顕治です。よろしくお願いたします。

原稿を書いている今日は11月の15日。アメリカ大統領が決まり、重要ポストが決まっていくニュースを目にし、日本では新内閣とその組織を目にし、外部環境がどう変わるのか不安ばかりが募るこの頃です。

唐突ですが、世界と日本の情勢がどう変わろうとも災害大国の日本であることには変わり有りません。資源を外国に頼っていることにも変わりはありません。外部環境がどうあろうとも経営を維持し、日本の食を支え続けることが私たち油脂販売業者の使命であることにも変わりはありません。

私の担当であります全国油脂販売業者連合会経営委員会では、今年度から事業継続計画(BCP)の策定を最重要テーマの一つとして位置付けます。

会員企業の皆様が万が一の事態にも対応できる強固な経営体質を身に着けることをお手伝いしたいと考えています。将来的にはBCPを備える会員各社との全国ネットワークを構築し、非常事態に組織の力で支えあえる体制を作り上げたいと考えています。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げるとともに、皆様の企業と全国油脂販売業者連合会が一層発展できるよう、精進してまいります。

長谷川 徹

(名古屋油糧(株)代表取締役社長・愛知県油脂卸協同組合理事長)



第71回の定時総会にて皆様からご負託をいただき、新たに副会長を務めさせていただくことになりました。これまで、企画委員会のメンバーとして、油脂未来セミナーの企画・運営など、全油販連の一部の事業には携わっていましたが、副会長という重責を担う立場となるのは初めてのことなので、大変身が引き締まる思いです。

この全油販連という場で、全国の仲間が一堂に会し、意見交換を行ったり親睦を深めたりすることは非常に貴重なことだと思います。経営者というのは得てして孤独なものですが、ここでは、同じ境遇にあり、同じ悩みを抱え、そして同じ志を持つ仲間達と会うことができます。

といっても、現状はどうしても首都圏のメンバーが中心となっており、私のホームグラウンドである愛知を含め、地方からの参加者が決して多くないことが課題であると考えております。地方からもより多くのメンバーが参加できるようになれば、もっと有意義な会となるはずで。そして、今まさに取り組もうとしている物流問題やBCPへの対策もより効果的なものになるでしょう。

微力な私にできることは限られているかもしれませんが、関西地区を牽引する木村副会長とも同心協力し、この全油販連を地方からも盛り上げていけるよう努めて参ります。皆様には何卒ご理解とご協力をいただけるようお願い申し上げ、私の挨拶に代えさせていただきます。